

平成 2 1 年度
沖繩県産業廃棄物実態調査報告書〈概要版〉
(平成 2 0 年度実績)

平成 2 2 年 3 月

沖繩県文化環境部

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査対象期間	1
3. 調査方法	1
4. 調査対象業種	1
5. 調査対象廃棄物	1
6. 調査結果	1
(1) 発生状況	2
(2) 排出状況	3
(3) 処理・処分状況（動物のふん尿を除く）	4
(4) 前回調査との比較	6
産業廃棄物実態調査結果（要約）	7

1. 調査目的

沖縄県内における産業廃棄物の発生及び処理・処分状況等の実態を把握し、廃棄物処理計画策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査対象期間

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間

3. 調査方法

郵送によるアンケート調査（ただし、農業については資料調査）

調査件数 4,189件

回収件数 2,122件（回収率：54.2%）

4. 調査対象業種

日本標準産業分類に基づく、大分類18業種（略称で表記）を対象

①農業 ②林業 ③漁業 ④鉱業 ⑤建設業 ⑥製造業 ⑦電気・水道業 ⑧情報通信業
⑨運輸業 ⑩卸・小売業 ⑪金融・保険業 ⑫不動産業 ⑬飲食店・宿泊業 ⑭医療・福祉
⑮学習支援業 ⑯複合サービス事業 ⑰サービス業 ⑱公務

5. 調査対象廃棄物

廃棄物処理法及び同法施行令で定める産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物。また、法令上廃棄物とならないもの、いわゆる有償物（排出事業者が何ら処理することなく、他人に有償で売却したもの、又は有償売却できるものを自ら利用したもの）も調査対象とした。

産業廃棄物

①燃え殻 ②汚泥 ③廃油 ④廃酸 ⑤廃アルカリ ⑥廃プラスチック類 ⑦紙くず ⑧木くず
⑨繊維くず ⑩動植物性残さ ⑪動物系固形不要物 ⑫ゴムくず ⑬金属くず ⑭ガラス・コンクリート・陶磁器くず ⑮鉱さい ⑯がれき類 ⑰ばいじん ⑱動物のふん尿 ⑲動物の死体
⑳以上の廃棄物を処分するために処理したもの

特別管理産業廃棄物

①廃油 ②廃酸 ③廃アルカリ ④感染性産業廃棄物 ⑤廃石綿等 ⑥特定有害産業廃棄物

6. 調査結果

平成20年度に沖縄県内で発生した産業廃棄物の処理・処分状況は、以下のとおりである。

なお、本文・図表中の千トン表示及び構成比（%）の数値は、トン単位で算出しているため、四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

（単位：千トン／年）

項目\区分	平成20年度	
	動物のふん尿を含む	動物のふん尿を除く
発生量	3,525	2,082
有償物量	207	207
排出量	3,318	1,875

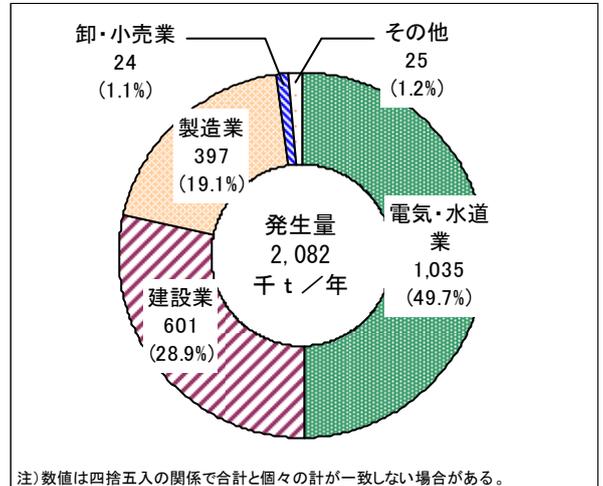
(1) 発生状況

動物のふん尿を除く産業廃棄物の発生量は2,082千トンとなっており、業種別、種類別、地域別の発生状況については、次のとおりである。

①業種別発生量

● 上位3業種で発生量の97.7%

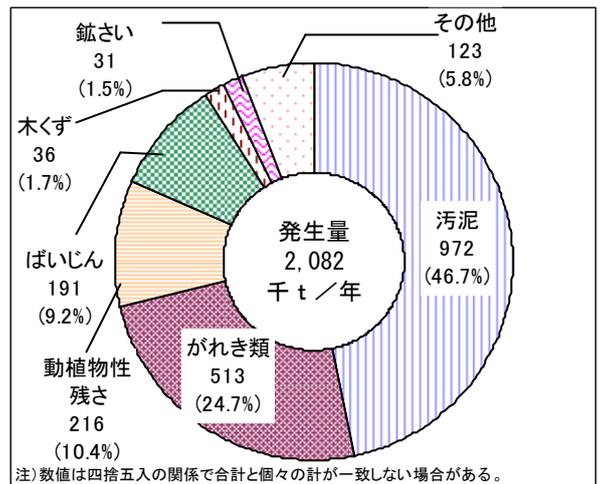
電気・水道業が1,035千トン(49.7%)で最も多く、次いで建設業が601千トン(28.9%)、製造業が397千トン(19.1%)等となっており、これら3業種で発生量の97.7%を占めている。



②種類別発生量

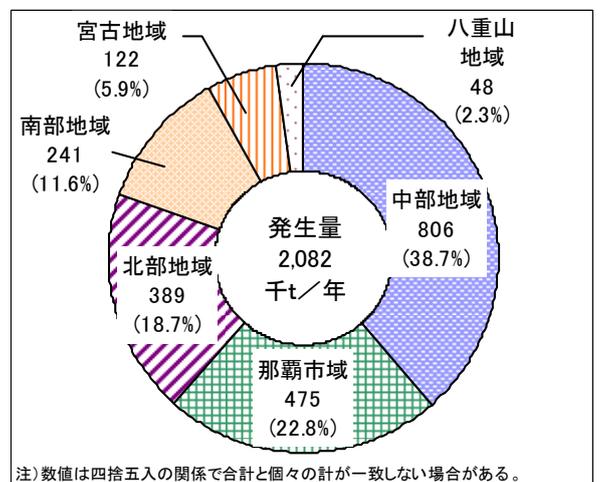
● 上位4種類で発生量の91.0%

汚泥が972千トン(46.7%)で最も多く、次いでがれき類が513千トン(24.7%)、動植物性残さが216千トン(10.4%)、ばいじんが191千トン(9.2%)等となっており、これら4種類で発生量の91.0%を占めている。



③地域別発生量

発生量(2,082千トン)を地域別にみると、中部域が806千トン(38.7%)で最も多く、次いで、那覇市域が475千トン(22.8%)、北部地域が389千トン(18.7%)、南部地域が241千トン(11.6%)、宮古地域が122千トン(5.9%)、八重山地域が48千トン(2.3%)の順になっている。



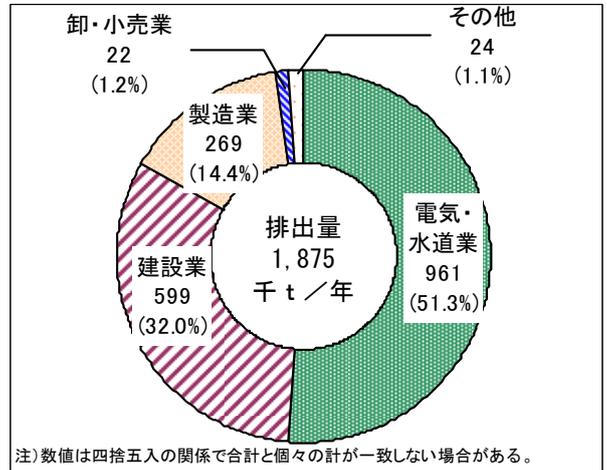
(2) 排出状況

動物のふん尿を除く産業廃棄物の排出量は1,875千トンとなっており、業種別、種類別、地域別の排出状況については、次のとおりである。

①業種別排出量

● 上位3業種で排出量の97.7%

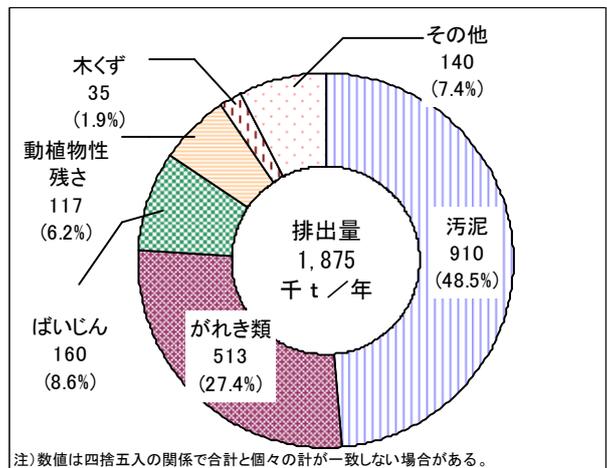
電気・水道業が961千トン(51.3%)で最も多く、次いで建設業が599千トン(32.0%)、製造業が269千トン(14.4%)等となっており、これら3業種で排出量の97.7%を占めている。



②種類別排出量

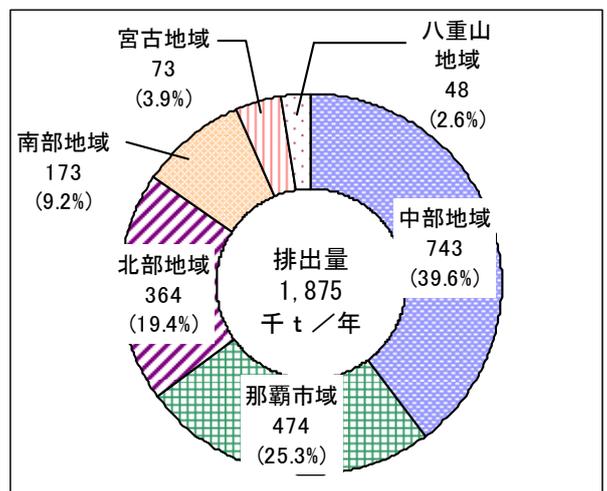
● 上位4種類で排出量の90.7%

汚泥が910千トン(48.5%)で最も多く、次いでがれき類が513千トン(27.4%)、ばいじんが160千トン(8.6%)、動植物性残さが117千トン(6.2%)等となっており、これら4種類で排出量の90.7%を占めている。



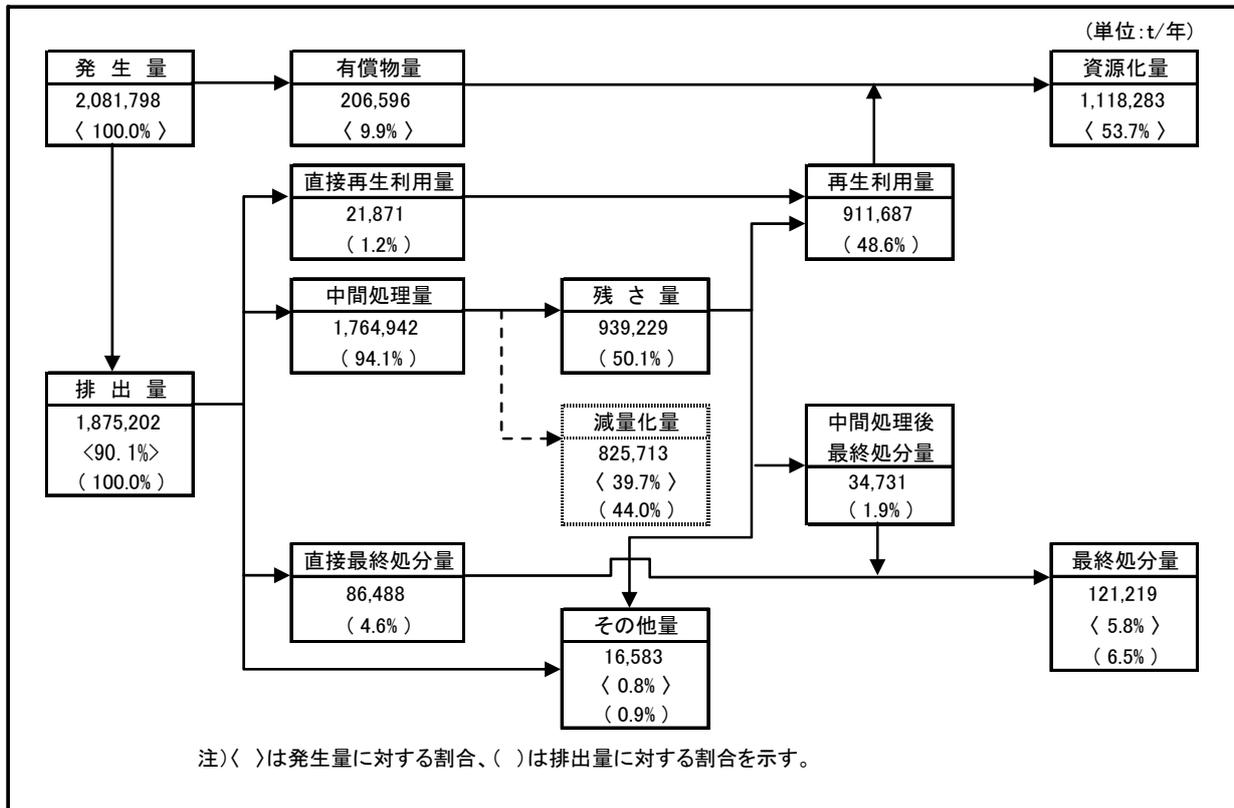
③地域別排出量

排出量(1,875千トン)を域別にみると、中部地域が743千トン(39.6%)で最も多く、次いで、那覇市域が474千トン(25.3%)、北部地域が364千トン(19.4%)、南部地域が173千トン(9.2%)、宮古地域が73千トン(3.9%)、八重山地域が48千トン(2.6%)の順となっている。



(3) 処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

排出量 1,875 千トンの処理・処分状況をみると、脱水・焼却等の中間処理によって 826 千トン（44.0%）が減量化され、912 千トン（48.6%）が土木・建設資材や肥料等に再生利用されており、結果的に 121 千トン（6.5%）が最終処分されている。

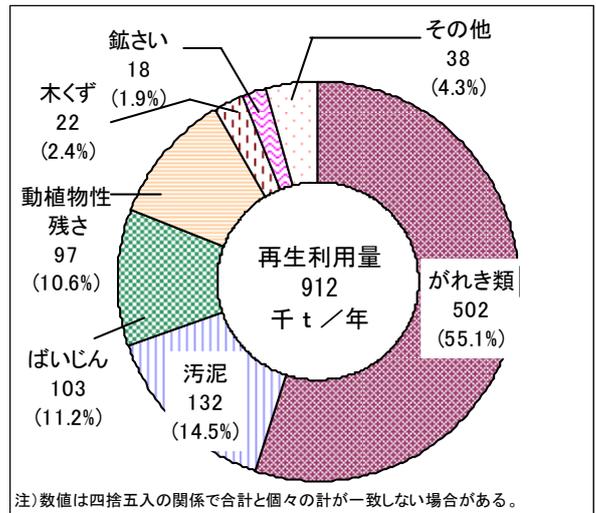


発生・排出及び処理・処分状況の流れ図

①再生利用量

● 上位4種類で再生利用量の91.4%

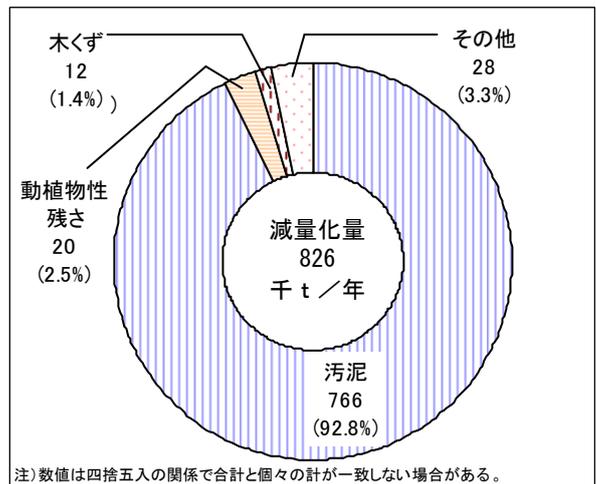
がれき類が502千トン(55.1%)で最も多く、次いで、汚泥が132千トン(14.5%)、ばいじんが103千トン(11.2%)、動植物性残さが97千トン(10.6%)等となっている。



②減量化量

● 上位3種類で減量化量の96.7%

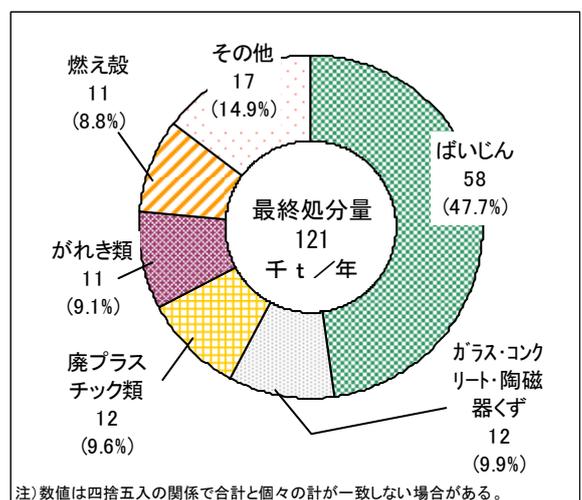
汚泥が766千トン(92.8%)で大部分を占めており、以下、動植物性残さが20千トン(2.5%)、木くずが12千トン(1.4%)等となっている。



③最終処分量

● 上位5種類で最終処分量の85.1%

ばいじんが58千トン(47.7%)で最も多く、次いで、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが12千トン(9.9%)、廃プラスチック類が12千トン(9.6%)、がれき類が11千トン(9.1%)、燃え殻が11千トン(8.8%)等となっている。



(4) 前回調査との比較

処理・処分状況を前回調査(平成15年度)と比較すると、以下のとおりである。

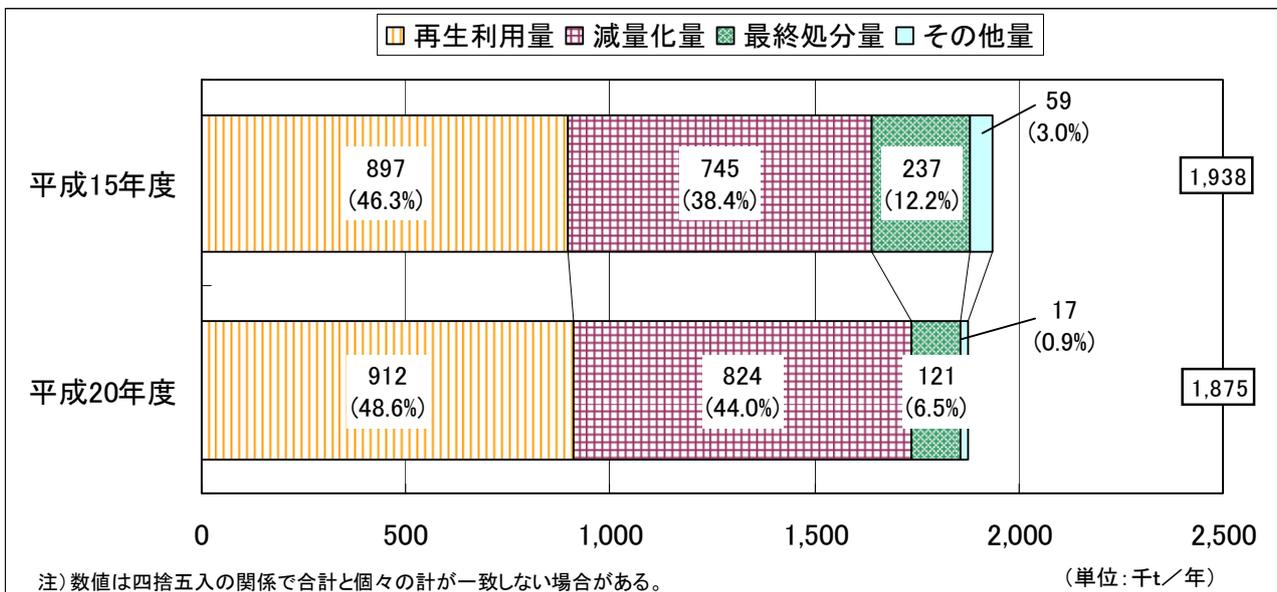
排出量が減少する中で、再生利用量は46.3%から48.6%へ2.3ポイントの増加(主に製造業：鉄鋼の鋳さい)、中間処理による減量化量は38.4%から44.0%へ5.6ポイントの増加(主に下水道業の有機性汚泥)となっている。このような減量化・リサイクル等の取組によって、結果的に最終処分量は半分近い大幅な減少(12.2%から6.5%へ5.7ポイントの減)となっている。

処理・処分状況の比較(動物のふん尿を除く)

(単位:千t/年)

項目	平成15年度		平成20年度		増減量	増減率(%)
排出量	1,938	(100.0%)	1,875	(100.0%)	△ 63	△ 3.3
再生利用量	897	(46.3%)	912	(48.6%)	15	1.7
減量化量	745	(38.4%)	826	(44.0%)	81	10.8
最終処分量	237	(12.2%)	121	(6.5%)	△ 116	△ 48.9
その他量	59	(3.0%)	17	(0.9%)	△ 42	△ 71.9

注) 数値は四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。



処理・処分状況の比較(動物のふん尿を除く)

産業廃棄物実態調査結果（要約）

1. 発生状況

(1) 発生量

2,082 千トン

(2) 業種別発生量

電気・水道業 1,035 千トン（49.7%）、建設業 601 千トン（28.9%）、
製造業 397 千トン（19.1%）の上位3業種で発生量の97.7%を占める。

(3) 種類別発生量

汚泥 972 千トン（46.7%）、がれき類 513 千トン（24.7%）、動植物性残さ
216 千トン（10.4%）、ばいじん 191 千トン（9.2%）の上位4種類で発生量の
91.0%を占める。

(4) 地域別発生量

中部地域 806 千トン（38.7%）、那覇市域 475 千トン（22.8%）、北部地域
389 千トン（18.7%）、南部地域 241 千トン（11.6%）、宮古地域 122 千トン
（5.9%）、八重山地域 48 千トン（2.3%）の順。

2. 排出状況

(1) 排出量

1,875 千トン

(2) 業種別排出量

電気・水道業 961 千トン（51.3%）、建設業 599 千トン（32.0%）、
製造業 269 千トン（14.4%）の上位3業種で排出量の97.7%を占める。

(3) 種類別排出量

汚泥 910 千トン（48.5%）、がれき類 513 千トン（27.4%）、ばいじん
160 千トン（8.6%）、動植物性残さ 117 千トン（6.2%）の上位4種類で
排出量の90.7%を占める。

(4) 地域別排出量

中部地域 743 千トン（39.6%）、那覇市域 474 千トン（25.3%）、北部地域
364 千トン（19.4%）、南部地域 173 千トン（9.2%）、宮古地域 73 千トン
（3.9%）、八重山地域 48 千トン（2.6%）の順。

3. 処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

(1) 排出量

1,875 千トン

(2) 再生利用量

912 千トンで 排出量の 48.6%

(3) 減量化量

826 千トンで 排出量の 44.0%

(4) 最終処分量

121 千トンで 排出量の 6.5%

表－１ 業種別－発生及び処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

(その1)

(単位：t/年)

区分 業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)		
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)		県内	県外	
																		(I)
合計	2,081,798	206,596	1,875,202	961,145	181,466	79,753	82,790	4,241	14,682	914,057	21,871	74,707	803,797	11,781	1,901	993,899	74,707	74,707
農業	3,607		3,607							3,607			2,472	821	314	3,607		
林業																		
漁業	14		14	4	4	4				10			10			10		
鉱業	7		7							7			7			7		
建設業	601,089	1,871	599,218	37,640	37,003	32,298	4,256		449	561,578		4	554,905	6,669		566,283	4	4
製造業	396,921	127,543	269,378	126,867	79,335	41,550	23,794	3	13,988	142,511	21,871		117,915	2,692	33	158,425		
電気・水道業	1,034,660	73,565	961,095	786,613	59,962	4,933	54,733	52	244	174,482		74,703	98,219	34	1,526	229,511	74,703	74,703
情報通信業	4,834		4,834	963	963	963				3,871			3,870	1		3,871		
運輸業	2,587	23	2,564							2,564			2,527	28	9	2,564		
卸・小売業	23,577	1,639	21,938	9,016	4,181				4,181	12,922			11,735	1,180	7	17,103		
金融・保険業	61		61							61			60	1		61		
不動産業	68		68							68			68			68		
飲食店・宿泊業	2,942	231	2,711	35	15	5	5	5	5	2,676			2,486	190		2,686		
医療、福祉	3,891	66	3,825							3,825			3,803	21	1	3,825		
学習支援業	120		120							120			57	63		120		
複合サービス事業	1,207		1,207							1,207			1,207			1,207		
サービス業	5,868	1,464	4,404	7	3		2		1	4,397			4,309	77	11	4,400		
公務	345	194	151							151			147	4		151		

表－１ 業種別－発生及び処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

(その2)

(単位：t/年)

区分 業種	委託処理量													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (0+L)	委託直接最終処分量 (O)				委託中間処理量 (L)				(M)	委託中間処理後量				(Q) (1+O+M2)	処理主体の内訳					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(委託処理後の処理内訳)		(Q1)			(Q2)	(Q3)				
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量									
		(M1)	(M2)	(M1)	(M2)	(M1)	(M2)	(M1)	(M2)		(M1)	(M2)									
合計	902,609	16,022	15,197	825	10,508	5,514	886,587	883,401	3,186	880,592	5,995	840,553	810,063	30,490	911,687	121,219	74,707	976	45,536	16,583	1,118,283
農業	3,293	821	821		821		2,472	1,250	1,222	2,472		631	593	38	593	859		24	835	314	593
林業																					
漁業	10						10	10		10		5		5	4	5			5		4
鉱業	7						7	7		7		6	5	1	5	1			1		5
建設業	565,830	6,669	6,004	665	5,336	1,333	559,161	559,114	47	559,160	1	530,536	509,443	21,093	541,741	27,766	4	678	27,084	449	543,612
製造業	144,404	2,695	2,671	24	2,695		141,709	140,496	1,213	136,438	5,271	135,696	132,391	3,305	195,812	6,000		78	5,922	14,021	323,355
電気・水道業	153,038	86	34	52	86		152,952	152,952		152,943	9	150,244	149,753	491	154,686	75,280	74,703	52	525	1,770	228,251
情報通信業	3,871	1	1		1		3,870	3,865	5	3,854	16	3,818	3,806	12	4,769	13		1	12		4,769
運輸業	2,555	28	28		28		2,527	2,526	1	2,519	8	2,249	2,107	142	2,107	170			170	9	2,130
卸・小売業	17,096	5,361	5,345	16	1,180	4,181	11,735	11,706	29	11,433	302	9,101	5,983	3,118	5,983	8,479		18	8,461	7	7,622
金融・保険業	61	1	1		1		60	60		60		55	23	32	23	33			33		23
不動産業	68						68	68		43	25	66	7	59	7	59			59		7
飲食店、宿泊業	2,686	195	140	55	195		2,491	2,359	132	2,491		2,158	2,042	116	2,047	311		58	253		2,278
医療、福祉	3,824	21	8	13	21		3,803	3,280	523	3,493	310	1,089	607	482	607	503		64	439	1	673
学習支援業	120	63	63		63		57	57		29	28	52	40	12	40	75			75		40
複合サービス事業	1,207						1,207	1,207		1,207		1,207	129	1,078	129	1,078			1,078		129
サービス業	4,388	77	77		77		4,311	4,297	14	4,286	25	3,538	3,068	470	3,068	547		3	544	12	4,532
公務	151	4	4		4		147	147		147		102	66	36	66	40			40		260

表－２ 種類別－発生及び処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

(その1)

(単位：t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					自己未処理の処理内訳	(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)		
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他量 (G5)	県内	県外
合計	2,081,798	206,596	1,875,202	961,145	181,466	79,753	82,790	4,241	14,682	914,057	21,871	74,707	803,797	11,781	1,901	993,899	74,707	74,707
燃え殻	12,256	2,966	9,290	6	276		38	3	235	9,284		8,346	780	32	126	9,560	8,346	8,346
汚泥	971,510	61,502	910,008	851,958	96,153	18,217	77,138	52	746	58,050		8,566	48,080		1,404	135,986	8,566	8,566
廃油	8,870	232	8,638	62	35	14	21			8,576			8,575		1	8,597		
廃酸	429	15	414	1						413			413			413		
廃アルカリ	304	12	292							292			292			292		
廃プラスチック類	19,744	61	19,683	261	240	204	36			19,422			16,926	2,168	328	19,458		
紙くず	12,990	3,595	9,395							9,395			9,393	2		9,395		
木くず	36,158	1,109	35,049	739	560	68	44		448	34,310			33,925	385		34,802		
繊維くず	1,466		1,466							1,466			1,466			1,466		
動植物性残さ	216,270	99,277	116,993	29,115	10,034	8,996	1,035		3	87,878	21,871		65,995		12	67,045		
動物系固形不要物	816		816							816			816			816		
ゴムくず	82		82							82			36	46		82		
金属くず	16,528	6,241	10,287	992	992	963	29			9,295			9,121	151	23	9,324		
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	25,477		25,477	3,413	3,413	687	2,721	5		22,064			17,894	4,167	3	24,790		
鋳さい	30,916	124	30,792	30,770	30,770	17,520			13,250	22			22			13,272		
がれき類	513,311		513,311	33,719	33,719	32,230	1,489			479,592		4	475,990	3,598		481,081	4	4
ばいじん	191,231	30,852	160,379	993	993	854	139			159,386		57,791	101,595			159,525	57,791	57,791
動物の死体	2,164		2,164							2,164			2,164			2,164		
その他産業廃棄物	21,276	610	20,666	9,116	4,281		100	4,181		11,550			10,314	1,232	4	15,831		

表－２ 種類別－発生及び処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

(その2)

(単位：t/年)

区 分 種 類	委託処理量													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量					その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量							(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)				(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量				(Q1)	(Q2)	(Q3)			
		業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
												再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)								
(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	(R)	(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J)	(S)		
合計	902,609	16,022	15,197	825	10,508	5,514	886,587	883,401	3,186	880,592	5,995	840,553	810,063	30,490	911,687	121,219	74,707	976	45,536	16,583	1,118,283
燃え殻	853	35	35		35		818	698	120	810	8	3,474	1,165	2,309	1,165	10,690	8,346	151	2,193	361	4,131
汚泥	125,270	52		52	52		125,218	124,485	733	125,209	9	114,192	114,084	108	132,301	8,726	8,566	52	108	2,150	193,803
廃油	8,596						8,596	8,594	2	8,486	110	3,428	3,428		3,442					1	3,674
廃酸	413						413	413		245	168	16	16		16						31
廃アルカリ	292						292	292		203	89	33	33		33						45
廃プラスチック類	19,130	2,168	2,164	4	2,168		16,962	16,817	145	16,878	84	13,096	3,579	9,517	3,783	11,685		4	11,681	328	3,844
紙くず	9,395	2	2		2		9,393	9,345	48	9,393		2,028	1,981	47	1,981	49			49		5,576
木くず	34,354	385	385		385		33,969	33,932	37	33,969		21,959	21,597	362	21,665	747			747	448	22,774
繊維くず	1,466						1,466	1,466		1,466		7	2	5	2	5			5		2
動植物性残さ	67,030						67,030	66,787	243	67,030		65,719	65,719		96,586					15	195,863
動物系固形不要物	816						816	816		816		816	816		816						816
ゴムくず	82	46	46		46		36	36		36		20		20		66			66		
金属くず	9,301	151	97	54	151		9,150	9,046	104	9,150		9,150	8,998	152	9,961	303		54	249	23	16,202
ガラス・コークス・陶磁器くず	24,787	4,172	3,888	284	3,483	689	20,615	20,604	11	20,528	87	20,615	12,745	7,870	13,432	12,042		284	11,758	3	13,432
鉱さい	22						22	22		22		22	22		17,542					13,250	17,666
がれき類	481,077	3,598	3,167	431	3,598		477,479	477,479		477,479		477,479	470,054	7,425	502,284	11,027	4	431	10,592		502,284
ばいじん	101,734						101,734	101,734		96,671	5,063	101,734	101,675	59	102,529	57,850	57,791		59		133,381
動物の死体	2,164						2,164	942	1,222	2,164		357	357		357						357
その他産業廃棄物	15,827	5,413	5,413		588	4,825	10,414	9,893	521	10,037	377	6,408	3,792	2,616	3,792	8,029			8,029	4	4,402

平成 2 1 年度

沖縄県産業廃棄物実態調査報告書＜概要版＞

（平成 2 0 年度実績）

調査主体 : 沖縄県文化環境部 環境整備課

調査委託先 : 財団法人 日本環境衛生センター

〒 8 1 6 - 0 9 4 3

福岡県大野城市白木原 3 丁目 5 番 1 1 号

TEL 0 9 2 - 5 9 3 - 8 2 4 0

FAX 0 9 2 - 5 9 3 - 8 2 5 5
